

要請番号 (JL25124B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パナマ	C201 家畜飼育・飼料作物	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2025/2 ・ 2025/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

アベル・タピエロ職業技術高等学校

3) 任地（チリキ県サン・ロレンソ市） JICA事務所の所在地（パナマ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 7.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

県庁所在地都市から1時間の農村部にある生徒数760名、教員数24名の中高併設校。高等部は農業、科学、観光の3科があり、農業科には115名が在籍。8名の専科の教員(農業技師)により、教室及び校内(敷地27ha)の牧場、農場にて各種授業・実習(牛、豚など家畜飼育、養蜂、養殖、野菜や果樹、飼料作物の栽培等)が行われ、食品保存技術、食肉・食品加工、流通についても授業が行われている。生徒は同地域の畜産農家の子弟も多い。卒業生は主に、大学進学、及び農場での就業、農業系企業へ就職。過去に日本大使館の支援により食堂棟が建設されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、畜産技師でもある経験豊富な専科の教員により、各種座学、実習指導が行われている。ただし、それら教員も飼料生産や家畜衛生等における最新理論への知識アップデートが必要であり、共に家畜飼育を行いながら新しい技術や飼育管理方法を探り入れ、授業・実習内容の質を向上するために、JICA海外協力隊の派遣による支援が求められた。隊員へは、同僚教員が実施する授業向上のためのサポート、飼育実習において効果的かつ市場ニーズにあった飼育管理、生産管理方法に関する助言やサポートが期待される。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 授業、実習を観察し、現地教員とより良い授業実施に向けての提案、意見交換を行う。
 - 現地教員と共に家畜飼育管理に携わりながら、飼料生産、育種改良、衛生、畜産物加工等の畜産に関わる新たな方法、技術の紹介や、技術的な助言サポートを行う。
 - 校内の家畜飼育環境の整備、改善サポートを行う。
 - そのほか授業・実習運営の改善サポート(機材・用具の管理、安全・衛生など)が行えれば尚良い。
- ※現在牧場で主に飼育されている家畜は、牧草地にて約30頭の乳牛、養豚舎内の豚、そのほかアヒル、鶏等小動物。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般農機具、牛舎や養豚舎等にある各種器具・施設。農場にはトラクターや耕運機等もあるが、隊員による使用は想定していない。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:農業科教員8名(農業・畜産技師、大卒及び農業学校卒、男女、年齢・経験は様々)

活動対象者:上述の専科教員ほか、学校内の教員、高等部農業科の生徒115名。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）畜産学 備考：専門的、学術的な知識が必要

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】